

## 編集後記

東日本大震災の直後、東北楽天ゴールデンイーグルスの嶋選手が「底力を見せましょう」というメッセージを発し、後にチームもリーグ優勝を勝ち取って被災地の期待に応えました。

そしてこの8年、多くの方々の「底力」によって、新しいまちづくりが着実に推し進められてきました。今秋、いよいよラグビーワールドカップの2試合が釜石で開催されます。甦る被災地に世界中の目が驚きとともに向けられることでしょう。(W)

今回、特集で広野町の開発取材しました。別件で震災後はじめて広野町を訪れたのは2012年。立ち入り制限されていたため、町に人影はなく、災害廃棄物処理もまだ行われていませんでした。鉄道が復旧していない広野駅や津波到達時間をさしたまま止まっている時計などの光景を、胸が締め付けられる思いで車の中から眺めました。今号で紹介されているように震災から8年が過ぎ、復興が進み、新たな開発が多く立ち上がっています。どうか希望を胸に働く現場のみなさんの努力が誌面から伝わりますように。(A)

**発行** 一般社団法人 日本建設業連合会  
〒104-0032  
東京都中央区八丁堀2-5-1  
東京建設会館  
TEL 03-3553-4095  
FAX 03-3551-4954  
URL <http://www.nikkenren.com/>

**発行者** 山本徳治  
**企画・編集** 一般社団法人 日本建設業連合会  
広報委員会  
**制作** 株式会社Kプロビジョン  
**デザイン** 株式会社コンセント  
**印刷** 株式会社耕文社

©2019 日本建設業連合会  
「ACE建設業界」は日本建設業連合会の登録商標です

年間購読料：4,800円(送料込)

## 「2018 生産性向上事例集」を ホームページに掲載



日建連・生産性向上推進本部（小原好一本部長 [前田建設工業(株)会長]）は、「2018 生産性向上事例集」を作成し、ホームページ上で公表しました。併せてホームページ上で事例集に掲載されている事例を個別に検索できる機能を追加しています。

同推進本部では、「生産性向上推進要綱」に沿った取組みの一環として、昨年1月に個々の現場での取組みを取り上げた「2017 生産性向上事例集」を公表しました。本年度は、現場での取組みに限らず、技術やシステムの開発、組織体制の見直しなどの取組みも土木17事例、建築9事例、合わせて26事例を取り上げています。

今回の公表に併せ、PDF版の一括ダウンロードに加え、2017年版および2018年版に掲載されている各事例を土木・建築別のテーマやフリーワードで検索できるようにホームページを刷新し、事例集としてより活用しやすい工夫を施しました。

今後も各社から生産性向上の取組みを集め、ホームページ上に掲載される事例を随時更新していく予定です。

URL: [https://www.nikkenren.com/sougou/seisansei/pdf/seisan\\_all\\_2018.pdf](https://www.nikkenren.com/sougou/seisansei/pdf/seisan_all_2018.pdf)

[問い合わせ先]

日建連・企画調整部

TEL 03-3553-0703

≪お知らせ≫